

DOJIN

R18

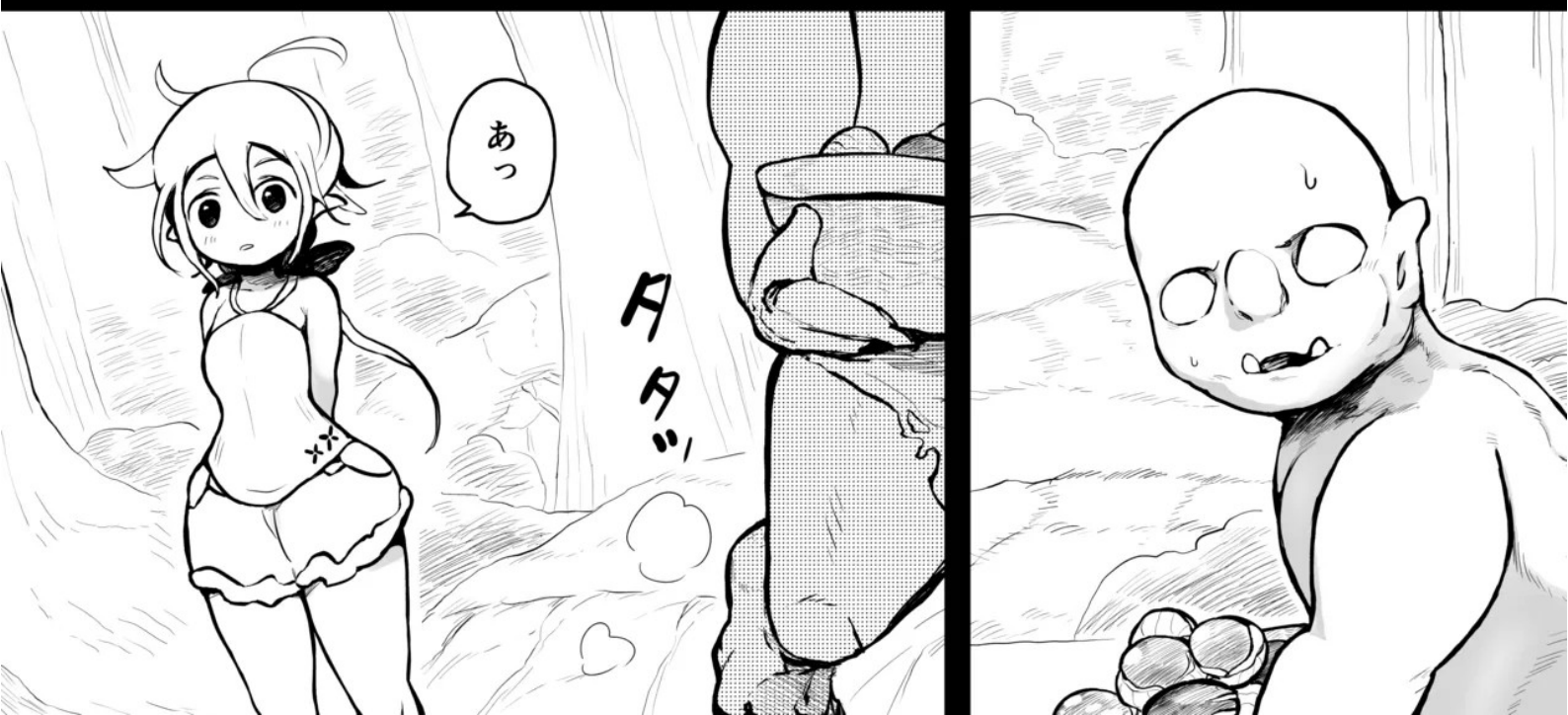
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

エロ
ク
の

お
年
頃





『オークを見かけたら
すぐに逃げなさい』

村の皆にそう
言われていたけど

オークの
ほうが逃げて
いきました

ねえっ

今日はなに
してるの？

ぬ

ド
ン

…ごはん
釣ってる…

なるほど

喋った！

私は
ファノ！

よろしくね
ボンゴ！

このあたりに
住んでるの？

ひとりで？

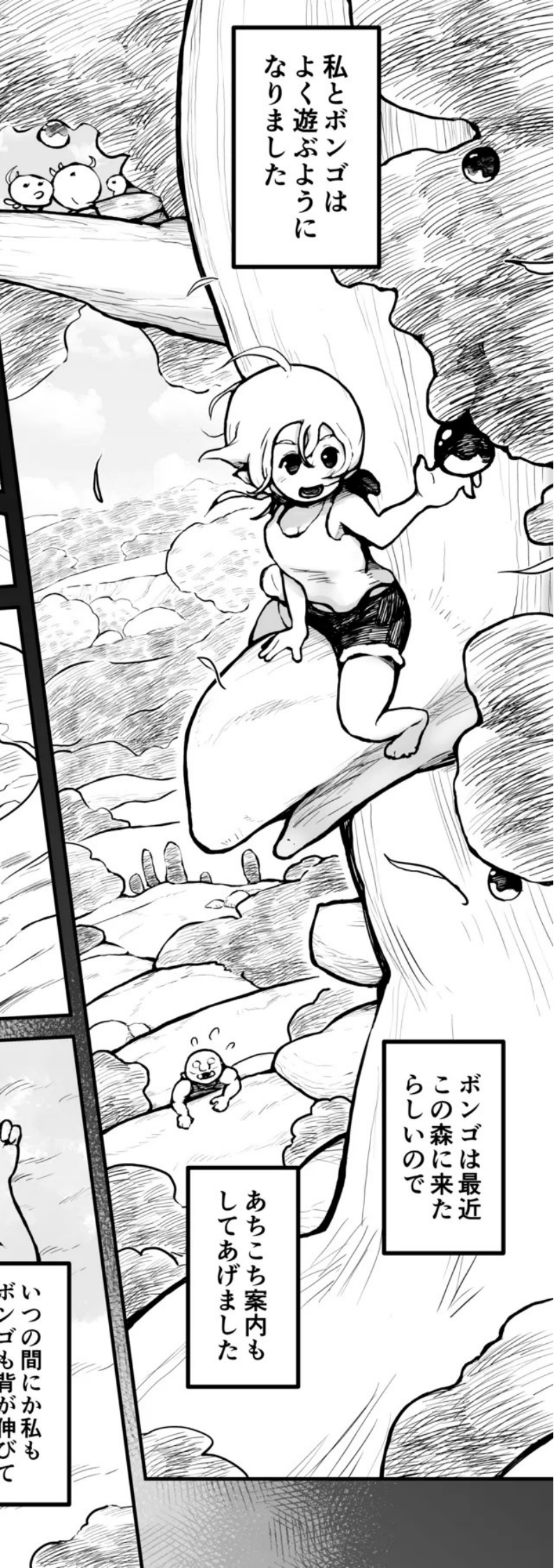
…

おなまえは？

それ
おいしいの

…
ボンゴ

—その日から



私とボンゴは
よく遊ぶように
なりました



村の方には結界が
あってエルフしか
入れないので

代わりにエルフに
つたわる魔法を
見せてあげたり



水浴びしたり
探検したり日々を
共に過ごすうちに



ボンゴは最近
この森に来た
らしいので

あちこち案内も
してあげました



いつの間にか私も
ボンゴも背が伸びて

種族は違うけれど
仲良く一緒に大きく
なっていました

—そんなある日

また水浴び
いっつか

ボンゴが私を
じいっと
見てくる事に
気付きました



やたら近くで
ニオイを嗅いだり

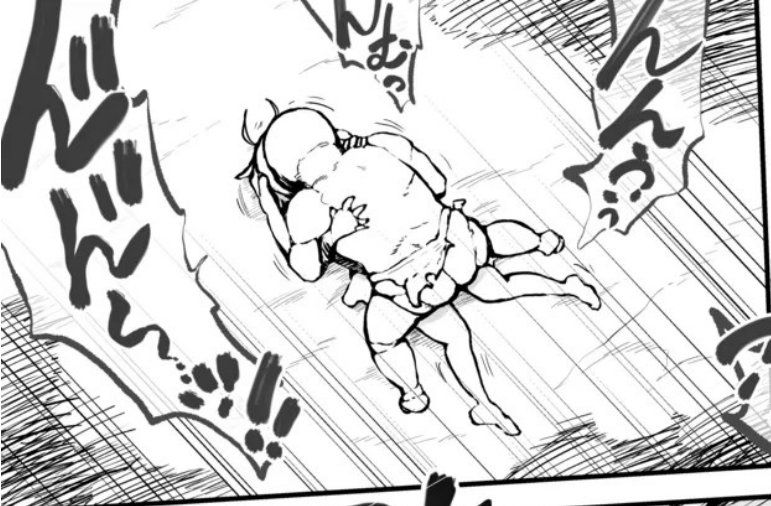


ボンゴ?
...あの
おっぱい
出て...

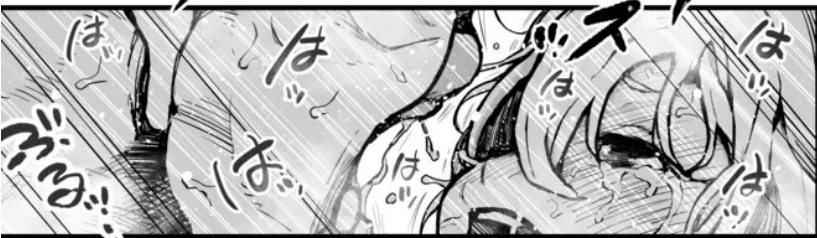


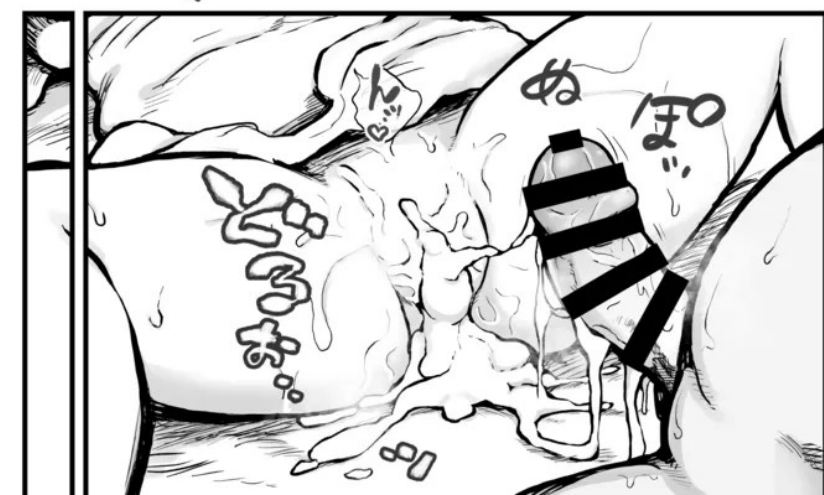
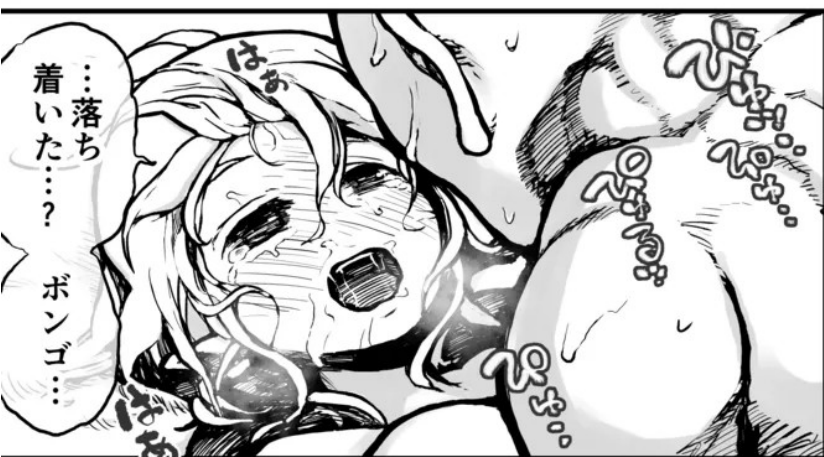
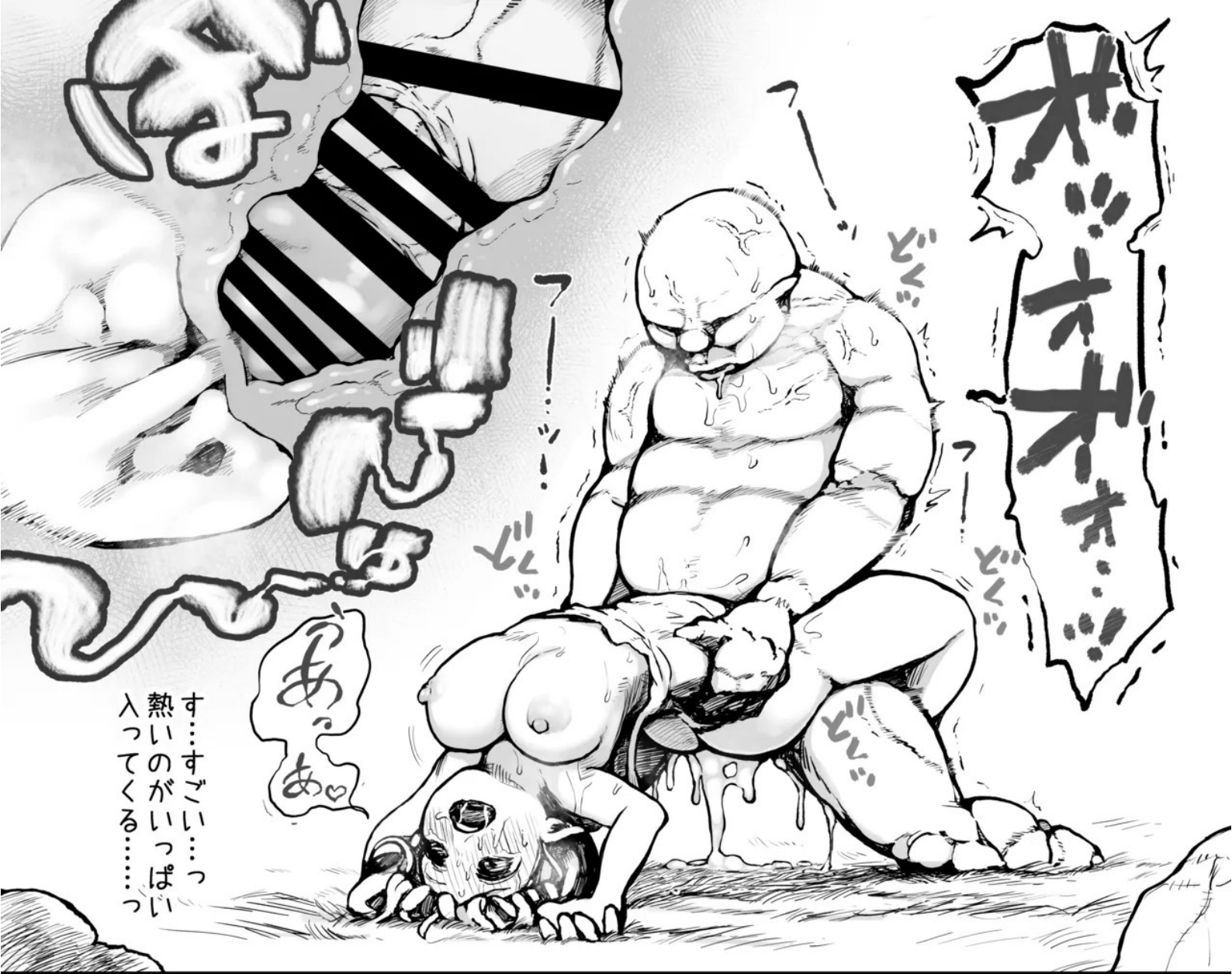
舐めてきたり

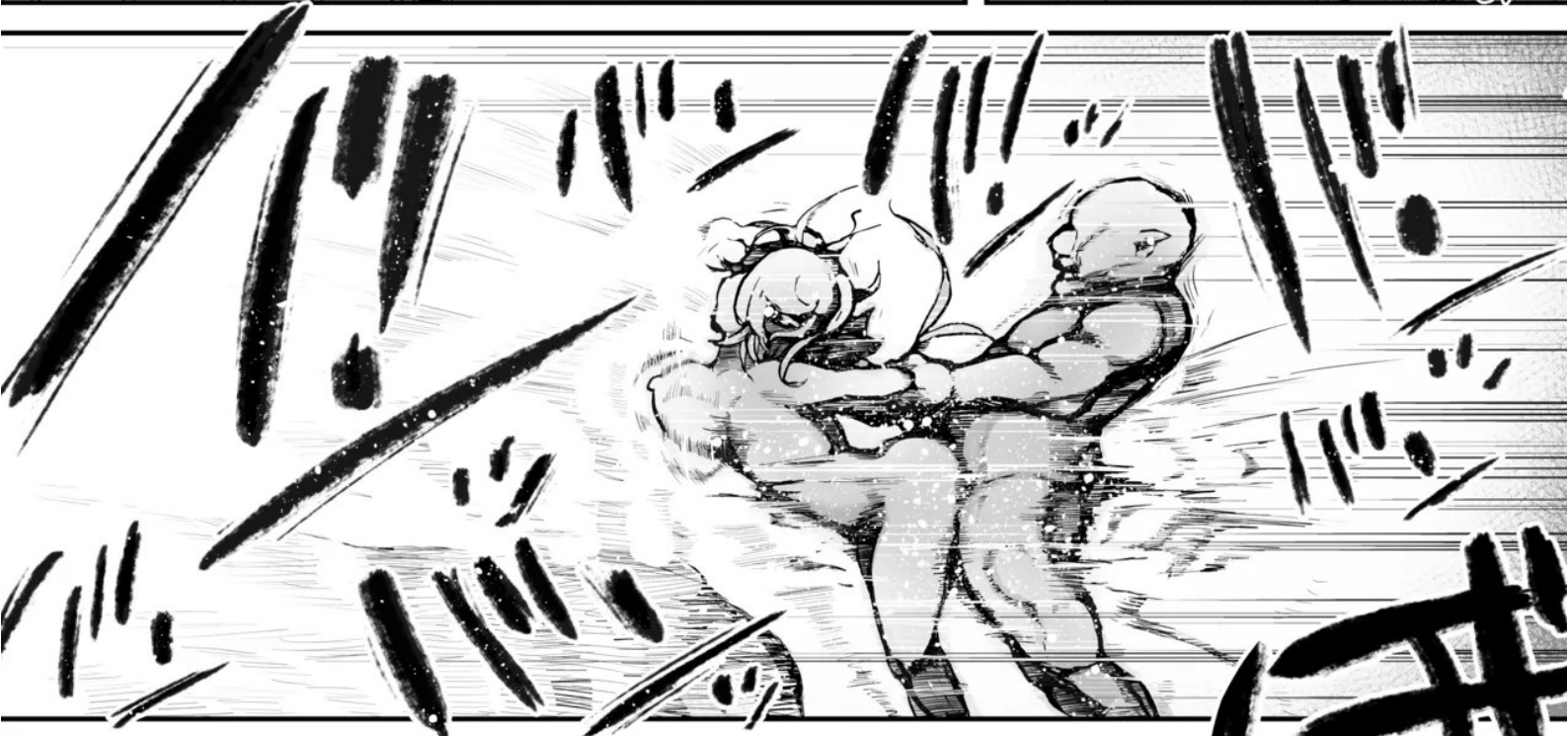
体をよく触ってくる
ようにもなりました





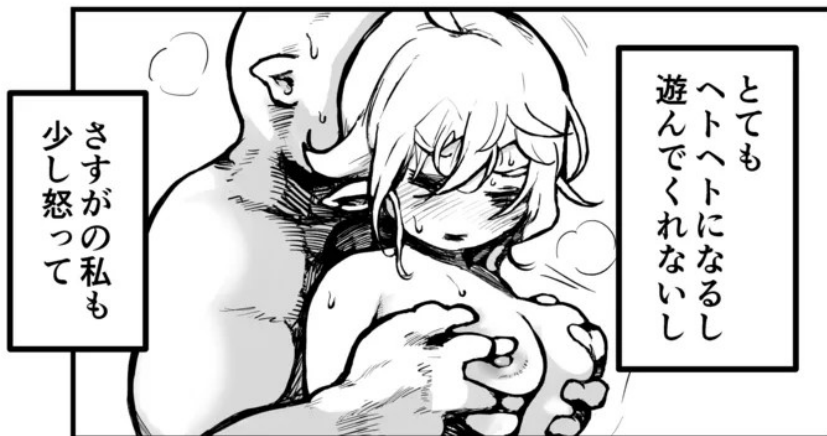






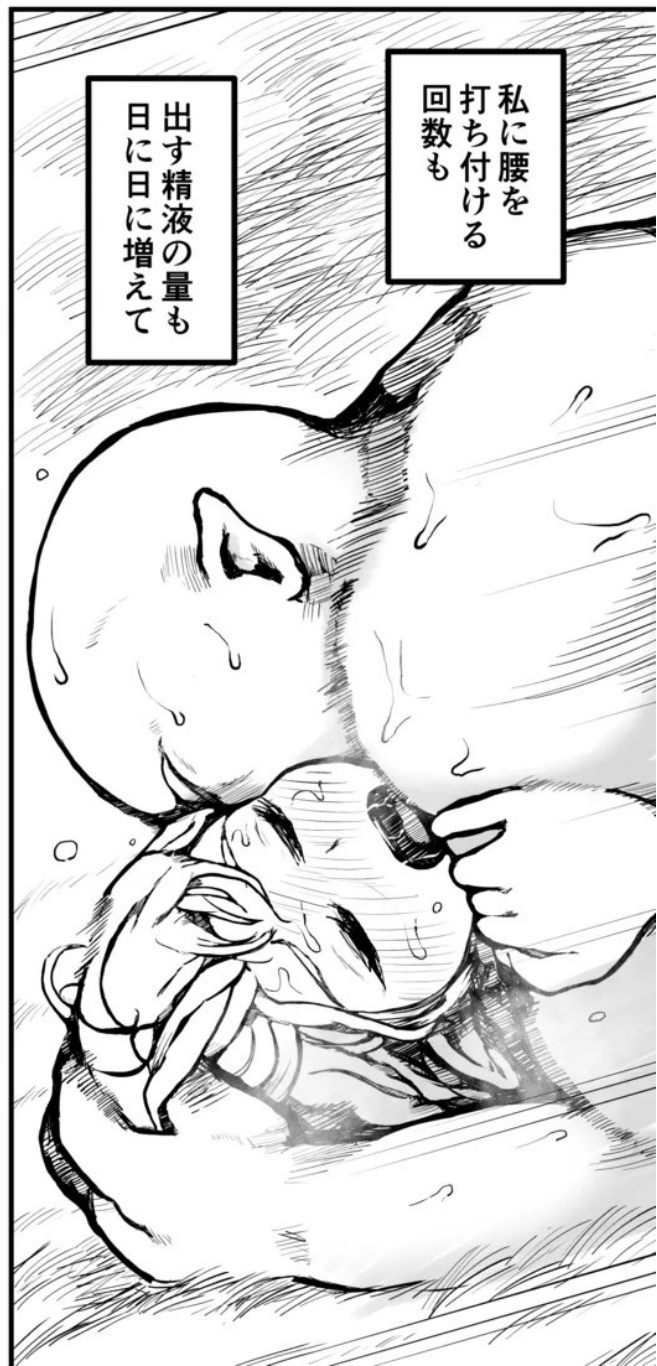


—ボンゴとの交尾は
激しさを増すばかりで



さすがの私も
少し怒って

とても
ヘトヘトになるし
遊んでくれないし



私に腰を
打ち付ける
回数も

出す精液の量も
日に日に増えて



しばらく会わない
ことにしました

それからどれだけ
経ったか…

エルフはもともと
時の流れの感覚が
希薄らしいけれど

私も例外なく
そうだったようで

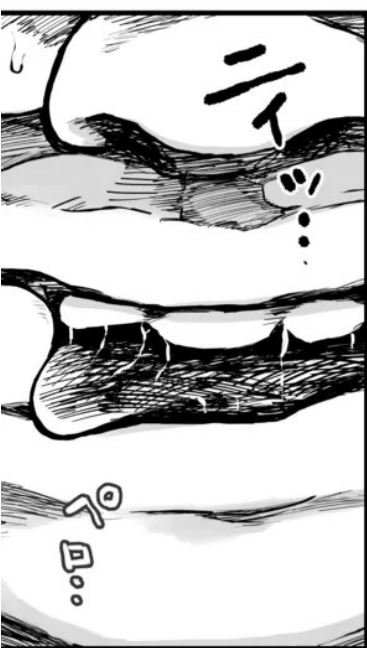
もしかしたら
季節が何回も
過ぎていたかも
しれません

いつも遊んでいた
あの森に訪れて

ボンゴも
怒ってるかなあ…

ボンゴの姿を
探してみました













大きくなったボンゴは
会えなかった日の分
だと言わんばかりに

そして
そのまま



とつくに溢れ
ちやつてゐるのに
何度も何度も……

私の中にすごい量の
精液を注ぎ続けました

そこで私は初めて

『オークを見かけたら
逃げなさい』と言われた
意味が分かりました



ボンゴはもうあの頃の
ボンゴではなく

逃げなければ
いけない危険な
存在なのだ…



—けど私は
逃げませんでした

：ねえボンゴ
知ってた？

ズーン

『エルフは
怒らせると
こわい』って

何よりも—

“友達”から逃げたく
ありませんでした

ボンゴは私との
赤ちゃんが
欲しかったの？

エルフは
混血だととても
出来にくいんだよ

そーいうお話も
したかったのに

会えばすぐ
クタクタになるまで
交尾なんだもん!!

どうい
うコト!!



エルフとオークのお年頃



おわり

登場種族紹介

エルフ

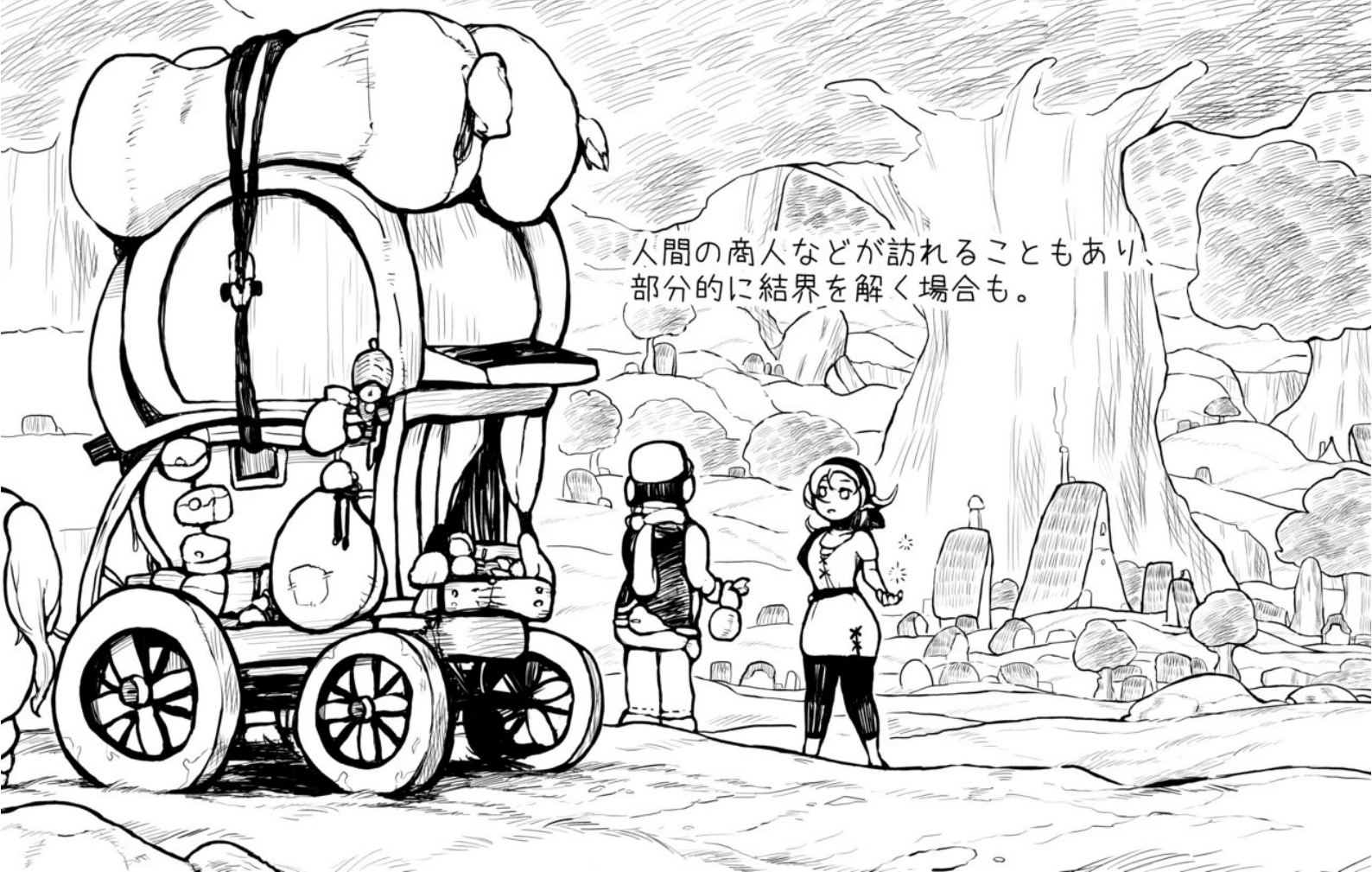
森の奥でひっそりと暮らす種族。
とても長命なため、自分の年齢や季節の移ろいに
無頓着で、森の様子や他の種族の在りようを見て
年月の経過に気付くという。

体の成長も特殊である日急に背が伸びたかと思えば、そこから数十年
変化が見られなかったりと、性格同様に気まぐれのようなのだ。
その影響か、精神年齢も安定せず幼さが残ったままの者も少なくない。

体内に魔力を宿しており、見た目以上に体は丈夫。
草木や土に力を与え自在に操るといった魔法も使えるが、
これは大地を肌で直接感じていないと存分に発現できないため
多くの者が素足で過ごしている。

エルフが生活をしている集落には
結界やまじないが施されており、
魔物や山賊といった外敵の侵入を防いでいる。

人間の商人などが訪れることもあり、
部分的に結界を解く場合も。



オーク

体が大きく屈強で獰猛な種族。
特筆すべきは少年期を過ぎた頃からの
急成長とその性欲にあり、往年を交尾のみに
費やした個体も珍しくない。

オークに雌が生まれる事が極めて稀であるため、
他種族に種付けをして回ること種族の存続をはかるという。

その性質故か、あまり群れずに個々が方々に散らばって
種付けをして生きているため、実の親を知らない、
気付いたら生まれて生きていたという子が殆どである。



あとがき

はじめまして、
筆者のムイギユウと申します。

本サークルの初作品をお手に取って頂き、
誠にありがとうございます。

今作はあえてエルフとオークという種族の
ふたりのみに絞ったお話にしてみました、
当初はほかの魔物や人間も出す予定でした。

もっと言うと、初期はセリフなしの
サイレントエロ漫画だったのですが、
色々あって今の形になりました。

なので、今回出せなかった人達のお話や、
全然違うお話もどこかで描いていきたいと
思いますので、またお見掛けする事がありましたら
よろしくお願い致します。

また、ご意見やご感想を送って頂くと次回作の
参考になりますので、お気軽にどうぞ。



-奥付-

タイトル:「エルフとオークのお年頃」

発行日:2023/01/01

サークル:ムギホホ

著者:ムイギユウ

連絡先:muigyuu5555@gmail.com

感想など:twitter @muigyuu

pixiv 37235502

※本作はフィクションであり、

実在の人物・団体・事件・史実等には一切関係がありません。

※本作の無断複製、複写、転載を禁じます。

※18歳未満の購読と閲覧を禁じます。